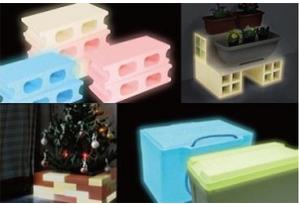


## 2017年度 選定テーマとデザイン提案の例

<p><b>テーマ</b> あらゆる生地素材にアイロン無しで貼れる「特殊転写技術」 テーマ企業：株式会社扶桑(葛飾区)</p>	<p><b>最優秀賞</b></p>	<p><b>提案</b> ユーザーが生地をカスタマイズできるパターンシート 提案者：榊原 美歩</p>
 <p>あらゆる布生地にアイロンを必要とせず簡単に貼れるシール技術。あらゆる布生地(綿・化繊・合繊等)に簡単に貼ることができ、水に強く定着性が優れているため洗濯も可能である。</p>		<p>アイロン無しで貼れる転写技術を用い、ユーザーが気軽にDIYやリメイクに活用できるシートのブランディング提案。「生地をカスタマイズする」という今までにない新しい文化を発信していくことを目指す。</p> 
<p><b>テーマ</b> 高品質・高技術の純国産ジグソーパズル製造技術 テーマ企業：株式会社やのまん(台東区)</p>	<p><b>優秀賞</b></p>	<p><b>提案</b> プログラミング思考×パズル。未来を広げる知育玩具。 提案者：松岡 湧紀、青井 正仁、榛葉 幸哉、西島 勇氣</p>
 <p>日本最大サイズのパズル製造機を所有しており、最大サイズ(147cm×216cm)から最少サイズ(10cm×14.7cm)まで多種多様なパズルを製造することが可能。紙素材のほか、PVC、木、ウレタンなどでも製造可能。</p>		<p>ジグソーパズルとプログラミングの親和性に着目。今後成り見込まれる市場へ展開するためのビジネスモデルの提案。プログラミングの基礎を学びながら親子で楽しむコミュニケーションをデザインする。</p> 
<p><b>テーマ</b> 98%の空気で作る機能性エコ素材「発泡スチロール成形技術」 テーマ企業：株式会社石山(墨田区)</p>	<p><b>優秀賞</b></p>	<p><b>提案</b> 新しい機能性を持たせた「光る発泡スチロール」 提案者：榎本 大輔、横山 織恵</p>
 <p>発泡スチロールは98%が空気で作られているため非常に軽く、化学製品でありながら燃やしてもダイオキシンの発生しないエコ素材である。無数の気泡の集合体のため、断熱性、緩衝性に優れている。</p>		<p>原料への添加が可能な発泡スチロールの特徴を活かし、素材からデザインをプランニングして「光る発泡スチロール」にチャレンジ。成熟産業において新たな価値特性を加えることによる、ビジネスデザインを提案。</p> 

## 2018年度 東京ビジネスデザインアワードの流れ(予定)

<p><b>企業からテーマを募集</b> (4月19日～6月20日)</p>	<p>都内ものづくり中小企業から、自社保有の高度な技術や特殊な素材などを「テーマ」として募集。</p>
<p><b>テーマ発表</b> (8月中旬)</p>	<p>審査委員会が10テーマ程度を選定し、HP等にて発表。</p>
<p><b>デザイナーからの提案募集</b> (8月～10月)</p>	<p>選定テーマに対し、デザイナーがあらゆる可能性を検討し、新たな用途開発を軸とした事業全体のデザインを提案。</p>
<p><b>一次審査・二次審査</b> (11月)</p>	<p>一次審査・二次審査を経て、テーマ毎に「テーマ賞」を選出。</p>
<p><b>最終審査・表彰式</b> (2019年2月)</p>	<p>テーマ賞の中からデザイナーの公開プレゼンテーションにより、「最優秀賞」、「優秀賞」を選出。</p>